

市民協働のまちづくり事業公開プレゼンテーション・公開報告会
加留部選考委員長 講評

どうも皆さん長時間ありがとうございました。そして、ご報告ご提案いただきました各団体の皆様方におかれましても、事前の準備から始まって今日の話をごここに持って来ていただくまでの色んな見えない努力もあったかというふうに思います。改めて感謝と敬意を表したいと思います。どうもありがとうございました。

今回4つ伺って感じたことが1つございまして、色んなメッセージを柳川に対して発信していただいているなというのが一番大きな私の感想です。テーマはそれぞれにありますけど、今柳川がどのような状況に置かれていてどうあるべきか、どうしたいのかというところを、それぞれがそれぞれの立ち位置から活動の具体的な背景を通じて、或いは実際に見聞きしたものを通じて発信していただけるのではないかなと思っています。勿論一筋縄ではいかないことがあったり、直ぐに1、2年で目に見える柳川市でも無い中で、それなりの積み重ねをしていったり、或いは努力を重ねていくような中で、大きな時間軸の中で物事を考えていくということの大切さも併せて発信していただいたのではないかと強く感じました。前に奇しくも「挑戦」という大きい文字がありますけど、それぞれがそれぞれにトライしようという気持ちが、今日は非常に強く私は出ていたなというふうに思っておりますし、個別のことはこれから審査の中で結論を出していきたいというふうに思っておりますが、全体の感じたこととしてあったのは柳川の立ち位置と言いますか、未来というものに対して色んなメッセージをお出しいただいたのではないかなと感じています。

だからこそ今度は、地元でやるとか色んな関係のところはまたこれをどんな感じで受け止めて、より良いものにお互いに作り上げていけるかというところが、協働というところで今後考えられるところにあるかなということも併せて感じたところです。改めて御礼を申し上げたいと思います。

そして今柳川で何が起こって、何が起ころうとするのかということをお互いに共有できればありがたかったかなというふうに思います。私からの所感として述べさせていただきました。どうも皆さんありがとうございました。